

令和4年度

鳴門西学校
「学力向上実行プラン」

学校の教育目標を踏まえた学力向上の重点目標

- ①「基礎的・基本的な知識・技能の習得と言語活動の充実」
- ②「学校と家庭との連携による生活・学習習慣の確立」

学力向上検討委員会構成

学力向上推進員 委員

校長

【各校の取組状況の把握について】

- ・指導技術や取組を共有できる研修(授業研究・グループワーク等)を行う。
- ・学校評価やチェックシートなどを活用し、定期的に取り組状況を把握する機会をもつ。

◎次の(1)～(3)をバランスよく取り組み、学力の向上を推進

(1)知識・技能の習得

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○漢字の読み書きや四則計算などについては、ある程度の定着が見られる。読書に興味・関心をもつ児童が多い。 ●学力に二極化傾向が見られる。読んだり書いたりする習慣が十分身に付いていない。語彙力・聞く力に課題がある。	①国語・算数の基礎的・基本的な知識・技能を確実に身に付けることができる。 ②文章の内容を正しく読み取ったり、要点を抑えて話を聞いたりするとともに、主述の整った文章を書くことができる。	①よいノートや日記の紹介等、モデルを示して児童の書く意欲を高め、板書やノート指導を充実させる。 ②漢字・計算や視写、音読、読書の時間を設けて繰り返し学習させ、定期的な小テストを行う。 ③検定や賞など、児童の学習意欲を向上させるような取組を行う。			

(2)思考力・判断力・表現力等の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○体験活動を好み、意欲的に活動できる。調べ学習や目標が明確で見通しのつく課題には安心して取り組み、思ったことを素直に発表できる児童が多い。 ●友達の意見を聞いて、自分の意見と比べたり自分の考えを整理したりして思考を深めることが難しい。	①調べたり体験したりした情報を整理し、話したり書いたりすることで、自分の考えを自信をもって相手に伝えることができる。 ②自分の考えと比べながら、相手の意見を聞くことができる。	①教科書とは違う文章問題を行う。 ②多様な発表形式を考え実践する。 ③自力解決の時間や、ペア・グループの学習を充実させる。 ④体験的な学習を取り入れる。 ⑤スピーチや発表の時間を確保する。 ⑥出前授業を増やす。 ⑦係活動や委員会活動を工夫する。			

(3)主体的に学習に取り組む態度の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○家庭学習の習慣が定着してきた。与えられた課題については真面目に取り組む児童が多い。 ●学習用具の準備・学習態度など、生活・学習習慣の定着が十分でない児童がいる。難しいことや疑問に思ったことを追究しようとする意欲が乏しい。	①学習の構えができています。 ②家庭学習を自主的に行い、問題解決に進んで取り組むことができる。 ③多様なジャンルの本を選んで読んでいる。	①学習環境を整える。 ②自主勉強の仕方やノートの使い方を工夫する。 ③題材や提示資料を工夫する。 ④総合的な学習の内容を工夫する。 ⑤タブレットを活用する。 ⑥明確な場面設定と活動目標の提示をする。			

令和4年度 学力向上ロードマップ

